

五十嵐中学校区 コミュニティ・スクールだより

真砂小学校・五十嵐小学校・五十嵐中学校
(3校合同版)



第2回学校運営協議会（小中合同会）が開催されました

9月9日（金）、第2回学校運営協議会が開催されました。年4回開催される学校運営協議会のうち、第2回は五十嵐中学校区3校合同で行いました。3校の委員が、3つの部会（まなびの部・こころの部・からだの部）に分かれて協議しました。

まなびの部	こころの部	からだの部
部会進行 五十嵐中学校・真砂小学校 運営協議会長 高田 豊 (五十嵐中学校区青少年育成協議会会長)	部会進行 五十嵐小学校運営協議会長 日諸 博美 (元小学校長)	部会進行 真砂小学校運営協議副会長 漆原 尚 (真砂小学校PTA会長)

【開会あいさつ】

・高田豊さん（五十嵐中学校・真砂小学校 学校運営協議会会長）

今日の3校合同の会で、他の地域の方々とも交流していただいて、その学校での問題点や特徴などを話し合い、ご意見を出していただければ、プラスの効果になることもあると思いますので、短い時間ですが、宜しくお願いいたします。

・日諸博美さん（五十嵐小学校学校運営協議会会長）

昨年から学校運営協議会に参加して、「学校は本当に子供たちのために一生懸命頑張ってくれているな」と、つくづく思います。それに付随して、PTAの組織や地域の様々な団体が本当に頑張ってくれている事が分かりました。3校合同の会も十分に連携が進められているので、今後も継続していくことが大切だと思います。

【校長あいさつ】

・真砂小学校 土田校長

子どもたちを取り巻く大人が「本気で考え、議論し、行動する」これに勝る環境は無いと思います。今後も3校が連携して、子どもたちの健やかな成長を支えていきたいと思っています。

・五十嵐小学校 諸橋校長

当校は今年創立50周年で、昨年から五十嵐コミュニティ協議会の会長さんより「地域と一緒に取り組めるものはないか?」とご提案いただき、一緒に考えてきました。10月末に「子どもたちだけで地域を歩く縦割り遠足」を計画しています。そういった場面で、コミュニティ・スクールの皆様にもご協力いただければ、地域の中での教育の場に繋がると思いますので、ぜひご協力をお願いいたします。

・五十嵐中学校 斎藤校長

小中の連携の必要性について学びました。CS委員の皆様、ぜひ学校の教育活動にご協力いただきたいと思っています。9月16日には体育祭があります。ぜひ、短い時間でも見学していただき、ご意見をいただければと思います。



【問い合わせ先】

(各校地域連携担当教職員)

真砂小学校 電話 025-267-1850
五十嵐小学校 電話 025-269-3117
五十嵐中学校 電話 025-260-1490

まなび の部

【まなびの部 兼 小中一貫教育推進会議】
協議会テーマ…どのように地域・家庭・学校が連携・協力して、主体的・対話的で深い学びを実現していくか。

まなびの部では、三校の主幹教諭・教務主任、研究主任と委員の15名で協議しました。各校の校内研修計画について説明の後、「まなびの部」のテーマについて協議が行われました。

◆五十嵐中学校

3学年の総合学習で「地域貢献活動」として、①「更生慈仁会の敷地の除草作業など」②「入り日の森の整備作業」③「海岸清掃」を行う予定。活動の前に事前学習として、それぞれの担当者から活動に関連する講義をしていただく。社会福祉法人「更生慈仁会」との関わりは以前もあったが途切れていた。これを機会に、また交流をしていきたい。交流活動の中で、子どもたちが福祉や介護の仕事などに興味を持ってほしい。

◆真砂小学校

- ・地域と一番関わる授業である「総合的な学習」では、真砂小の特色である「海」を活用した教育活動を行っている。27年続く全校海岸清掃、海洋保全のための啓発ポスターの町内への展示（4年生）を中心に、今年度も新たな計画を立てている。具体的には、①「夕日コンサート」を復活させ、地域の人を集めて、歌や演奏の発表をしてみたい（5年生）、②地域の方々のご意見を聞きながら「地域貢献を通したまちづくり」について出来ることを考える（6年生）などである。
- ・活動を継続することで、学区内の施設（西新潟中央病院、学区の店舗、郵便局等）との関係が深まっている。

◆五十嵐小学校

- ①自分が学んだことを、地域に還元する活動を学年ごとに行っている。
 - ・3年生「坂に名前を付けよう」という活動
 - ・4年生 真砂小とZOOMで繋がり海岸清掃を行った。
 - ・5年生「清心の森」を地域の皆さんが使えるように開拓を進めている。
 - ・6年生 防災教育で学んだことを、地域に伝えていく活動をしている。
- ②当校は今年創立50周年である。生活科で「地域と深く結びついた学習」を全学年で行っている。10月25日には、初めての試みとして「子どもたちだけで地域を歩く縦割り遠足」を計画している。
- ③創立50周年のPTAの取り組み「ペットボトルキャップでアート作品をつくろう」プロジェクトでは、地域のお店に、ペットボトルキャップの回収箱の設置にご協力いただいている。

＜ 意見交換 ＞

○防災について

- ・地域には、防災士がたくさんいるので、コミュニティ協議会と連携して防災学習に役立ててほしい。
- ・真砂コミュニティ協議会では、「親子一体で防災を考えよう」という課題で取り組んでいる。以前は、自治会で「防災キャンプ」を行った。太夫浜キャンプ場でテントを張り、親子でサバイバル体験を行った。
- ・五十嵐コミュニティ協議会では、10月2日に五十嵐中学校で防災訓練を行う。今後は、地域と学校で一緒に行えるようになると良いと思う。生徒の皆さんも参加していただくと、防災意識が高まると思う。

○ICT教育について

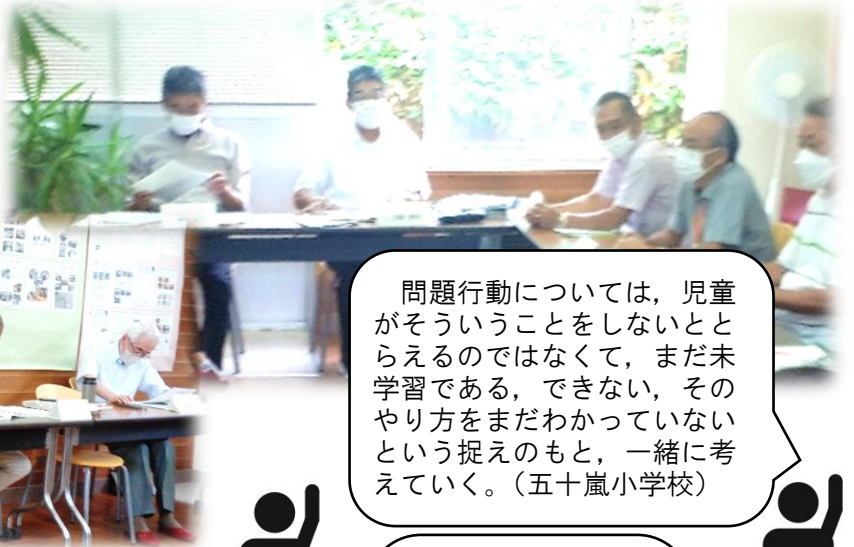
- ・今は、教員も驚くほどICT教育が進んで授業のやり方が変わっている。生徒全員がiPadを持っており、それを使いこなしていきたい。地域でICTに堪能な方がいれば、ぜひご紹介いただきたい。



こころの部

【こころの部 兼 中学校区いじめ防止連絡協議会】
協議会テーマ…9年間で子どもたちの豊かなこころの発達のために、どのように地域、家庭、学校が連携、協力していくことができるか。

こころの部では、三校の生活指導担当教諭と委員の14名で協議を行いました。各校の生徒指導に関する今年度の計画と現状の説明の後、意見交換が行われました。



学校全体で子どもたちをとにかく細かく見ていこうということで、少し課題を抱えているお子さんたちも、全校体制で情報共有して取り組んでいます。(真砂小学校)

今の子どもたちは余裕がなく昔とは全然違う学校生活が展開されているのではないかなと思っています。

多様性が認知されてきている。インクルーシブ教育の視点に立った指導方法やUDL, LGBTQなどの配慮に努める。(五十嵐中学校)

問題行動については、児童がそういうことをしないとらえるのではなくて、まだ未学習である、できない、そのやり方をまだわかっていないという捉えのもと、一緒に考えていく。(五十嵐小学校)

それぞれの学校の皆さんが集まって、地域の子どもたちを連携して見守っていくことが大切なことだし、今後も続けていかなきゃいけないことだと思う。

部会報告者：我妻善和（五十嵐小学校生活指導主任）

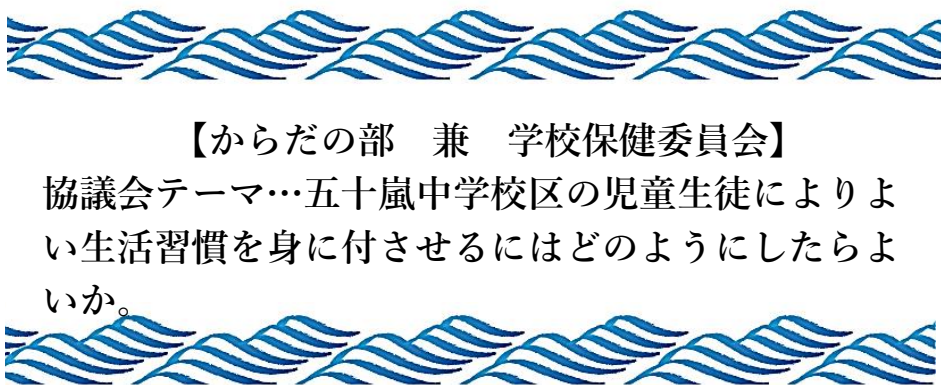
学校だけではどうしてもなかなか対応できないこと、なかなか見えないことを、地域の方から様々な角度から見ていただいて、ここに子どもたちを真ん中において、中心において、どんな対応ができるかということを常に考えて支援していくことが必要です。そして、9年間の学びを終えて義務教育を終えた時に、自分たちで考えて、自分たちで選択し、選んで、前に進めるような子どもを育てていけることが地域の皆様と一緒にやっていきたいと思っています。

部会進行：日諸会長より

正解なんてなかなかないから、やりながら考え、考えながらやりながら。またみんなケースバイケースそれぞれです。工夫していただければ、いくらでも地域は協力できると思います。地域としては今までやってきたことを続けるとともに何かあったら互いに情報交換していきたいと思っています。

五十嵐小学校 諸橋校長より

子どもが自己有用感・自信を持って、主体的な活動を積み重ねていくこと、それがしっかりと小学校でできれば中学校につながるのではないのでしょうか。とにかくひとりひとりをしっかり見ること。ひとりひとりをしっかり育てることをしていかなくてはいけないと思っています。そして地域の皆様が顔をお互い知り合うということが一番ありがたいことなのだと思います。



【からだの部 兼 学校保健委員会】

協議会テーマ…五十嵐中学校区の児童生徒によりよい生活習慣を身に付させるにはどのようにしたらよいか。



からだの部では、三校の養護教諭と委員の15人で協議しました。各校の養護教諭より令和4年度健康診断の結果報告、取組についての説明がありました。

◆健康診断結果（肥満・視力・う歯）

真砂小学校	コロナ禍で肥満児童が全国的に増加している中、真砂小学校でも昨年度に比べ肥満が進行している児童が増えている。特に男子の割合が多い。保護者に受診勧奨を促している。 視力1.0未満の児童は増加傾向。視力低下が低年齢化している。保健だよりで近視についての啓発を行っている。 う歯についてはほぼ横ばいで推移。歯肉炎については昨年度よりやや増加している。明倫短期大学の学生さんによる歯科指導を12月に計画している。
五十嵐小学校	肥満は例年横ばいで進んでいるが、今年度は減少傾向にある。夏休み明けの健康診断で体重が減っている児童が複数名いたため、経過観察をしていきたい。 視力1.0未満の児童は増加傾向。令和元年から4年にかけては10%近く増加。iPad等が普及したことによる影響も出ているのではないかと。姿勢も含めた使い方の指導をしていく。 う歯・歯肉炎は、共に減少傾向。減少傾向が続くよう保健だよりによる啓発と「歯肉炎予防教室」を実施予定。
五十嵐中学校	肥満度50%以上の高度肥満が激減。運動量の増加と身長伸びとともに解消していく生徒が多い。体育の授業でも身体を動かすことが好きになるよう工夫している。 視力1.0未満の生徒は6割で横ばい。学年ごとに増えているが最近では仮性近視が治らない生徒が多い。「ほけんだより」でも近視について取り上げた。1年生の眼科受診率は高いが、学年が上がると、どうしても低くなっていく。 う歯は少ないが徹底した磨き方を習得するには歯科医院へ定期的に通院する事が望ましい。軽い歯肉炎でも通院の契機として歯科健診の結果を活用してほしい。11月に再勧告の予定。

◆健康ウイーク集計結果（メディア利用時間・睡眠時間）

真砂小学校	メディア利用は約半数の児童が1日平均1時間以下に抑えることができた。また約9割の児童が8時間以上の睡眠時間を確保できている。
五十嵐小学校	多くの児童がメディア利用時間を2時間以内に収めようとする様子が伺えた。また8割以上の児童が7時間以上の睡眠時間を確保できている。
五十嵐中学校	メディア利用は約半数の生徒が1日平均1時間半に抑えられている一方、3時間以上利用の生徒が約15%みられた。また7時間以上の睡眠を確保している生徒が65%。就寝までのリズム修正が課題。

◆意見交換



メディア利用に関するご意見を多く頂きました。

- ・メディアが学びのきっかけになる事も多く、単純に制限するのは違うと思う。メディアの使用時間よりメディアとの付き合い方を子ども自身で考えてほしい。
- ・家庭の中でも子供がメディアで何をしているのか、コミュニケーションを取って知っておく必要がある。
- ・子どもだけでなく、大人や保護者がメディアの使い方の手本を見せられるようになる必要がある。

